GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト採択地区の概要（北海道）

事業実施主体	北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会
実施対象品目	コメ、かんしょ、たまねぎ

推進体制

【生産】
コメ：上川管内中央部JA、空知管内北部・南部JA
かんしょ：道南、後志、日胆、石狩、空知、留萌、上川、オホーツク、十勝管内のJA
たまねぎ：道内主産地JA

営農指導

【事務局】
北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会
（ホクレン、北海道庁、道漁連、北農中、JETRO北海道）

輸出

【主要輸出先】
A社、B社、C社　等

連携

【国内連携先】
D社、E社　等

【海外連携先】
各国輸出支援PF

輸出額の目標（百万円）

品目	令和3年度	令和6年度
コメ	383	965
かんしょ	0	15
たまねぎ	40	1,447

取組内容

大ロット輸出に向けた生産方法の転換

<コメ>
- 海外の外食産業需要の獲得に向け、既存品種から多収品種への作付転換拡大のため、直播・水温管理等の実証圃場の設置や生産者への技術指導を実施

<かんしょ>
- 輸出規格品（A品）の増量・品質改善に向け、防除（虫食い、つるまき対策）、積算温度対策、出荷前乾燥等生産から出荷に至る各過程での生産者への技術指導を実施

<たまねぎ>
- 国内出荷と区分する輸出用規格（台湾向けは２L玉規格など）の生産拡大に向け、生産者への技術指導や、作付前に行う海外バイヤーとの定価取引契約による価格保証制度確立のための調査・制度設計を実施

集荷から船積みまでの方法の転換

<コメ>
- 北米向け輸出に必要なFSMA（米国食品安全強化法）の検査に対応するため、ホクレンパールライス工場を念頭に、集荷－精米－船積み段階でのFSMA対応の研修を実施

<かんしょ>
- 新技術の鮮度保持システムを活用した、貯蔵保管環境による輸出用の保管期間延長の実証試験や、プラスチックコンテナやパレット等の集荷・保管に係る資材の統一化を実施

<たまねぎ>
- 他国産との品質差別化のため、新技術コンテナを使った鮮度保持物流実証や、手作業で実施していた共計品のスタンプ押印の自動化とともに「HOKUREN」ブランドロゴの押印実証を実施

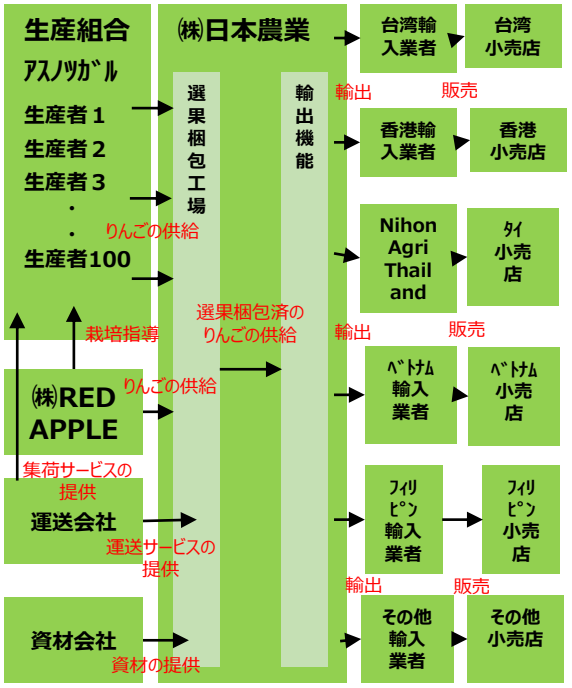
販路拡大・認知度向上等

- 輸出商社や現地インポーターを産地に招聘し、産地の取組やブランドをPR
- 北米や香港における多収品種の認知度向上を図るための現地プロモーションを実施

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト採択地区の概要（青森県）

事業実施主体	アスノツガル輸出促進協議会
実施対象品目	りんご

推進体制



輸出額の目標（百万円）

品目	令和3年度	令和6年度
りんご	745	2,100

取組内容

大ロット輸出に向けた生産方法の転換

- 海外と国内では求められるりんごのサイズやグレードが大きく異なる。
- 生産者の高齢化に伴って平均的なグレードが落ちてきており、海外の消費者が求めるレベルの良質なりんごが減ってきている。
- 海外ニーズの高いギフト用300g以上の大玉りんごと日常消費用の200g前半の小玉りんごの量産に向けた技術指導、粗選果等による生産者の作業負担軽減。
- 生産者が強いられている無駄な負荷を解消することによって「葉取り」や「つる回し」といったりんごのグレードに影響を与える細やか作業に割ける時間を創出。

集荷から船積みまでの方法の転換

- 青森県のりんご産業における生産者の不必要な負荷を軽減することで、生産活動に集中できる環境を整備。
  それにより海外のマーケットが求める品質のりんごをより多く生産することが可能となる。

【負荷①】
りんごの収穫は20kgの木箱で行われることが一般的。さらにこの木箱は持ち手がないため非常に持ち上げづらく、身体に大きな負荷がかかる。また、複数の木箱を積み上げた際に安定しないため、運搬時に崩れないよう木箱の位置を細かく調整する必要があり、時間を要する。

【軽減方法①】
木箱からプラスチックコンテナへの転換。

【負荷②】
現行の流通構造は、生産者が市場又は農協の出荷場にりんごを持ち込むことが一般的。
トラックに積み込み、場合によっては長い時間かけて運んで、トラックから下ろす作業が負担。

【軽減方法②】
産地における庭先集荷サービスの構築。生産者はメッセージアプリにより集荷依頼することも可能。
これにより、これまで産地市場や農協の集荷場への運搬にかけていた時間を本来の生産活動に使えるようになる。

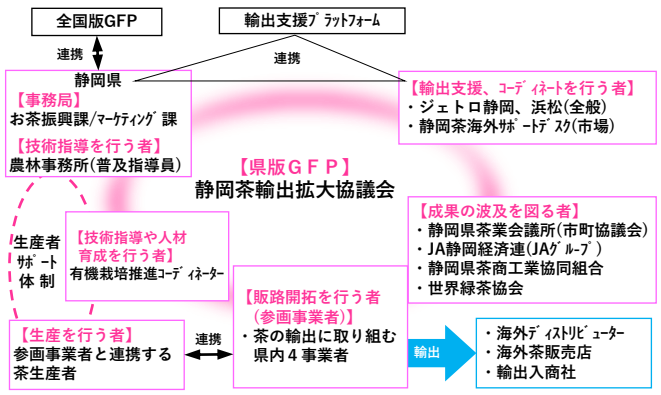
販路拡大・認知度向上等

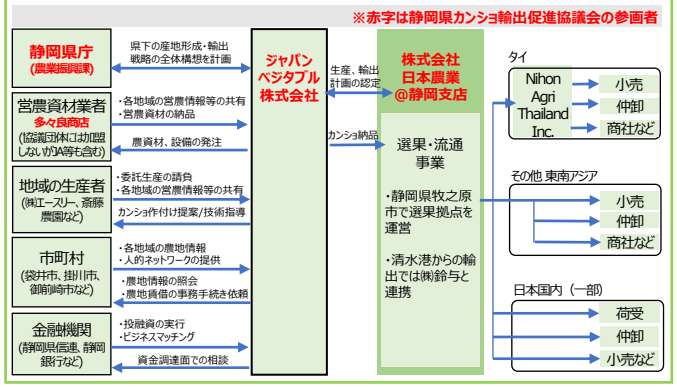
- アジアにおける更なる販路開拓に必要な情報収集やマッチング機会の獲得のため、輸出支援プラットフォームを活用

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト採択地区の概要（静岡県）

事業実施主体	静岡茶輸出拡大協議会、静岡県かんしょ輸出促進協議会
実施対象品目	茶、かんしょ

推進体制





輸出額の目標（百万円）

品目	令和3年度	令和6年度
茶	4,427	5,446
かんしょ	－	106

取組内容

大ロット輸出に向けた生産方法の転換

<茶>
- 県内４地区（富士、藤枝、川根、春野・森）における有機栽培への転換や有機品種への転換のための検証ほの設置、普及指導員や有機栽培推進コーディネーターによる技術指導の実施
- 有機茶を使用した新商品の試作、FDA基準への適合試験の実施

<かんしょ>
- 掛川市、御前崎市、袋井市、浜松市のエリアで、荒廃農地を中心に土壌改良を行うことで農地を再生し、20ha分の新規作付を実施
- 加工用から単価の高い青果用への作付切替及び契約農家への栽培指導の実施
- 大規模営農に対応する定植機や大型収穫機の導入、IoT機器を活用した作業の自動化・効率化体制の構築

天地返しによる農地再生

集荷から船積みまでの方法の転換

<茶>
- 複数の輸出業者の連携による地元清水港を活用した北米向け混載輸送の実証

<かんしょ>
- 40ftコンテナ満載を前提とした輸出環境の構築
- 収穫用コンテナの無料貸与や収穫物集荷のための中継地点の設置による集荷の効率化

IoTを活用した半自動操舵

混載実証

販路拡大・認知度向上等

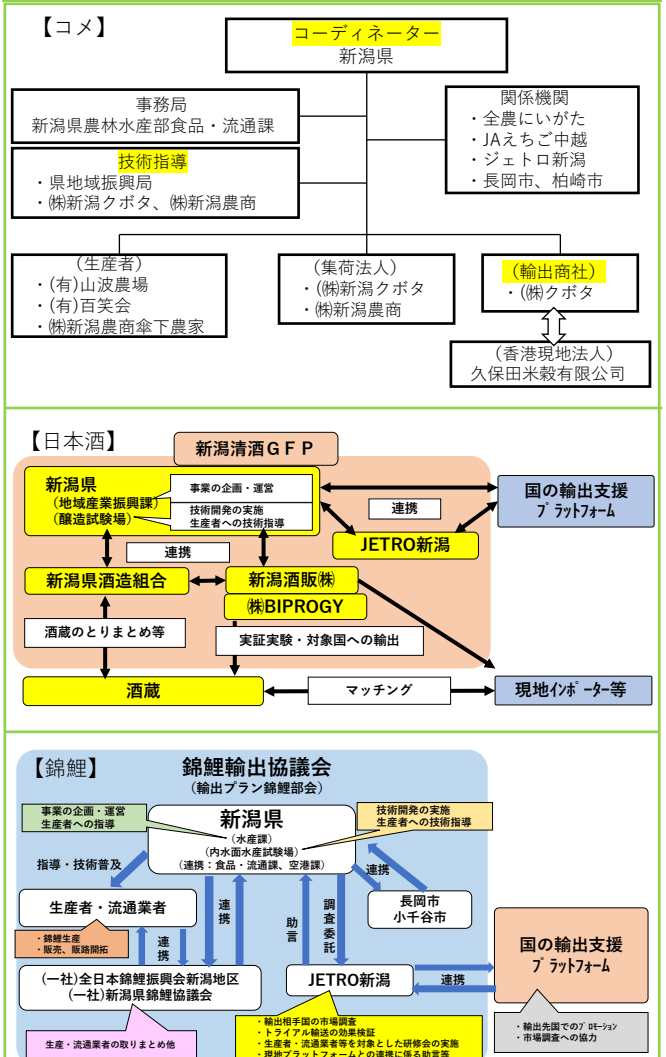
<茶>
- 仏のサロン・デュ・ショコラや独のANUGAに出展し、現地の評価を調査・検証

<かんしょ>
- 海外の日本食レストランとの連携によるB品・C品を使用した加工品の開発、カナダや中華圏からの引き合いに対応するため船便による海外へのテスト輸出

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト採択地区の概要（新潟県）

事業実施主体	新潟県
実施対象品目	コメ、日本酒、錦鯉

推進体制



取組内容

大ロット輸出に向けた生産方法の転換

<コメ>
- コシヒカリから輸出用米（ゆみあずさ、にじのきらめき）への転換の品種検討、ドローンによる直播栽培への転換、SDGsニーズに対応するためのプラスチック不使用肥料への切替

<日本酒>
- 新潟県オリジナルの麹菌を開発し、原材料がすべて新潟産の清酒を開発。海外の嗜好に合わせて清酒の香味を多様化させるための新たな酵母の開発

<錦鯉>
- ウイルス保有魚の検出精度を高める魚病対策技術の開発、引き合いの高い雌魚の生産性向上のためのAIを活用した雌雄判別技術の開発や遺伝子解析技術の開発

集荷から船積みまでの方法の転換

<コメ>
- 新潟港を活用した輸出ルート構築の実証、新潟空港を活用した錦鯉・日本酒との混載による輸送実証

<日本酒>
- リーファーコンテナをチャーターし、県内の小口輸送やECでの小口取引を取りまとめた大ロット化輸出への転換、異なるサイズの容器（四合瓶、二合瓶、一合瓶）による輸送実証

<錦鯉>
- 成田空港の旅客便利用から、新潟空港からのチャーター便による輸出への転換実証

販路拡大・認知度向上等

<コメ>
- 香港での見本市に出展

<日本酒>
- ベトナムやタイにおいてオンライン商談会を実施

<錦鯉>
- チャーター便実証の到着空港における錦鯉のリーフレット等の配布

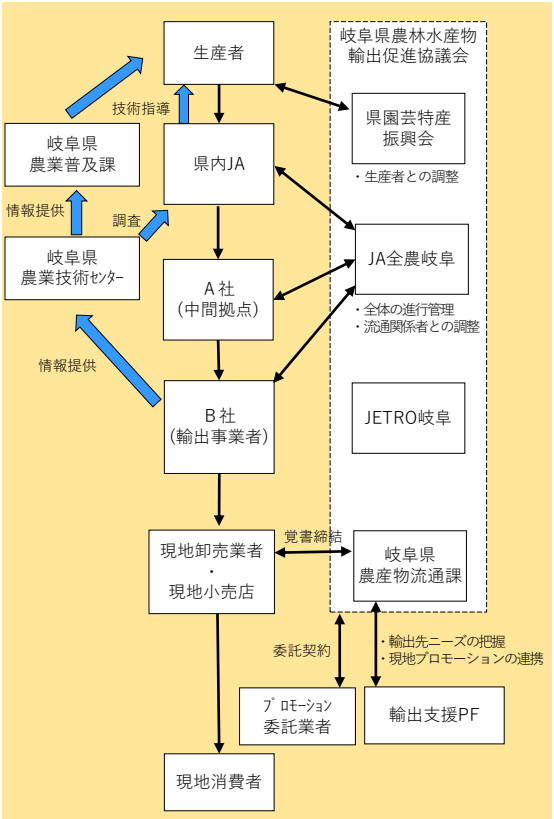
輸出額の目標（百万円）

品目	令和3年度	令和6年度
コメ	187 ⇨	692
日本酒	3,212 ⇨	5,372
錦鯉	2,699 ⇨	3,889

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト採択地区の概要（岐阜県）

事業実施主体	岐阜県農林水産物輸出促進協議会
実施対象品目	かき

推進体制



輸出額の目標（百万円）

品目	令和3年度	令和6年度
かき	12	49

取組内容

大ロット輸出に向けた生産方法の転換

- 県内３か所の選果梱包施設について、令和３年より強化されたタイの衛生基準を満たしたタイ向け選果梱包施設の認定を取得。
- タイ向けに輸出可能な栽培面積を121ha(令和３年)から390ha(令和5年)へ増やすとともに、タイ向けに生産を行う農業者数を364経営体(令和３年) から1,200経営体(令和5年)に拡大。

天下富舞

集荷から船積みまでの方法の転換

- 輸出に適した品質保持技術の確立
  日持ち日数延長のための品質保持輸送について、包装方法・最適温度・荷姿の３点から実証試験を実施。
- 輸出に適した果実の選別技術の確立
  過熟等による商品ロスを低減するためにAIを活用して新たな果実選別技術を検証。
- 中間拠点の設置による国内輸送ルート変更、輸送コスト低減
  産地と輸出港(名古屋港)の中間に長期保存のための貯蔵・早期需要に対応する個包装処理ができる中間拠点を設置し、港までの輸送回数を減らすことで輸送コスト低減を検討。

富有柿

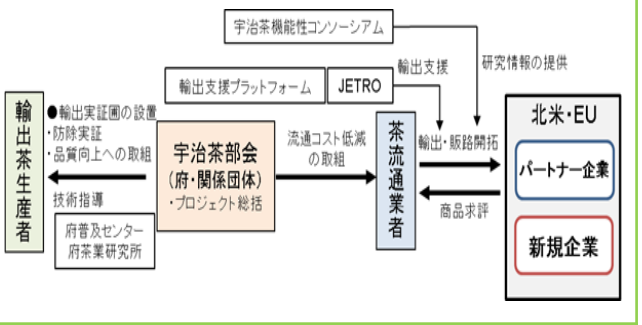
販路拡大・認知度向上等

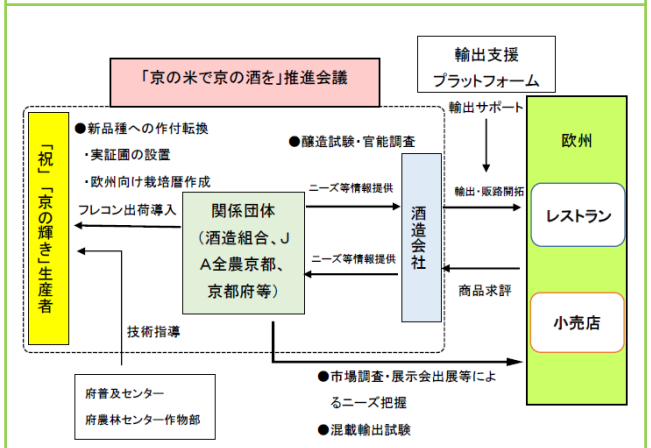
- 品種特性や産地情報、美味しい食べ方などが載っているPRパンフレットの作成。
- 現地バイヤーや消費者の認知獲得に向けたプレゼンテーションや試食によるプロモーションを実施。
- 岐阜県産柿を使用した新メニューの開発や香港・タイでのテスト販売を実施。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト採択地区の概要（京都府）

事業実施主体	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会宇治茶部会、「京の米で京の酒を」推進会議
実施対象品目	茶、日本酒

推進体制





輸出額の目標（百万円）

品目	令和3年度	令和6年度
茶	253	330
日本酒	30	60

取組内容

大ロット輸出に向けた生産方法の転換

<茶>
- 既存産地の山城・丹後地域に加え、新たに中丹地域に輸出実証圃を設け、北米等向け減農薬栽培の実証のほか、山城地域の輸出実証圃において北米・EU向け有機栽培体系の実証を実施
- コンタミ防止のため、茶工場でのてん茶製造工程におけるコンタミ箇所調査等を実施するほか、コンタミ防止ガイドラインを策定

<日本酒>
- 欧州の嗜好に合った酒米の新品種（祝２号）への府内全域の一斉切替に向け、安定生産のための施肥実証試験や栽培研修会を実施
- 祝２号の特徴を活かした日本酒開発のための醸造試験や醸造方法の指針を作成

山城の茶畑

醸造試験

集荷から船積みまでの方法の転換

<茶・日本酒>
- EU向け輸出について、業者単独での輸出から、全農が輸出品の集約・保管を行い、港に運んで日本酒とのコンテナ混載により輸出する方法への転換を図る実証を実施

<日本酒>
- 酒米産地における紙袋出荷からフレコン出荷への転換を図る実証を実施

販路拡大・認知度向上等

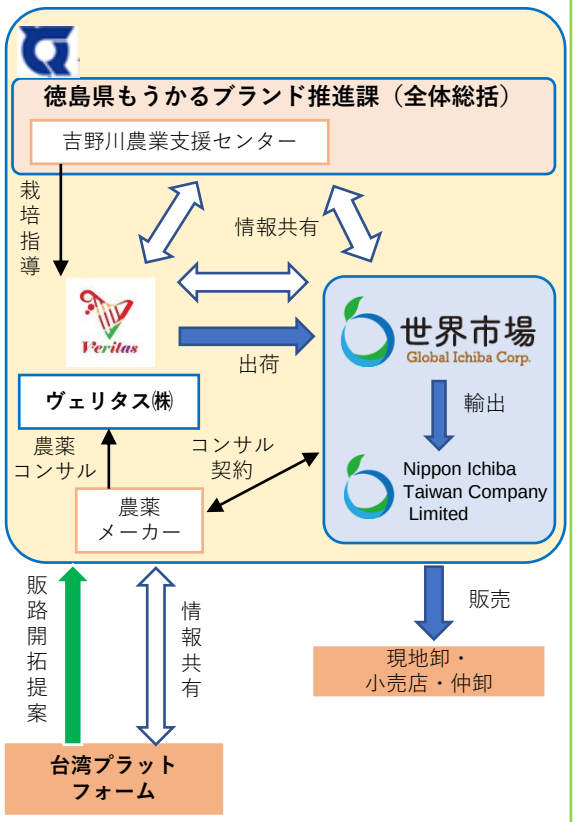
<茶>
- 米国や仏の有機・オーガニック食品の国際見本市に出展し、機能性や文化と併せて宇治茶の価値をPR
- 協議会構成員が「伝統宇治碾茶」の名称でGI登録を申請中であり、令和6年度にGI取得予定

<日本酒>
- 欧州において商談会を行い、「京の酒」を共同かつ大ロットで仕入可能な業者を開拓

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト採択地区の概要（徳島県）

事業実施主体	徳島県
実施対象品目	いちご

推進体制



輸出額の目標（百万円）

品目	令和3年度	令和6年度
いちご	0.02	16

取組内容

大ロット輸出に向けた生産方法の転換

- 台湾向けいちごにおいては、残留農薬基準が日本と異なるため、台湾の残留農薬基準に合わせた栽培管理暦を作成し、それに基づいた栽培を行う。
- 輸出前には、残留農薬検査を実施し、台湾の残留農薬基準に違反していないか確認する。
- 梱包時に混入する虫を取り除く効率的な手法を確立し、植物検疫に対し、円滑な輸出を実施。
- 同品質で安定した生産を行うため、生産者に対して台湾向け栽培管理暦を活用した栽培講習会を実施。

集荷から船積みまでの方法の転換

- 出荷から現地までのコールドチェーンの確立と長期間の鮮度維持を実現するために、
  - 予冷設備の充実
  - 収穫後の工程の見直し
  - 輸出港までの国内輸送経路及び使用機材の見直しを通じたコールドチェーンの確立を実証
- 航空輸出において、効率的に積載でき耐衝撃性の高い梱包資材を作成し、ダメージ低減によるロス率低下と低コスト輸送の実証。

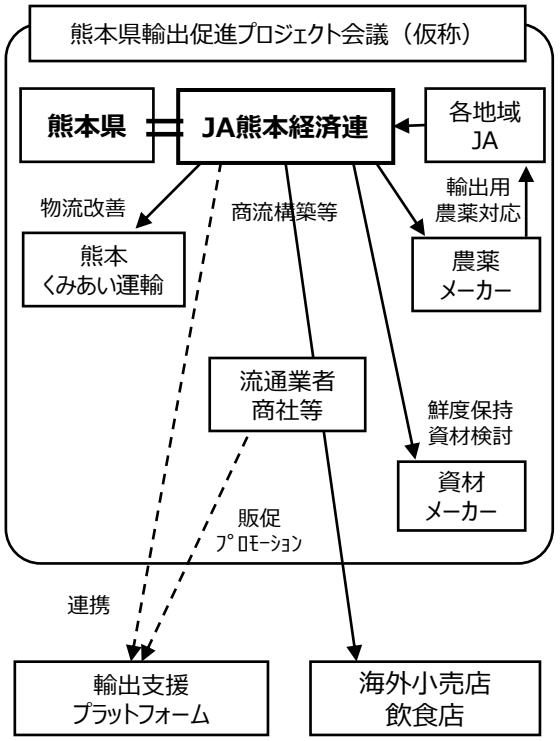
販路拡大・認知度向上等

- 現地に法人を持つ強みを活かし、独自のネットワークによる販路開拓を実施するとともに、現地小売店において、販売プロモーションを実施。
- 台湾輸出プラットフォームと連携し、現地ニーズや市場動向調査、現地企業とのマッチングを実施。また、「日本産青果物フェア」への出展を検討。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト採択地区の概要（熊本県）

事業実施主体	熊本県
実施対象品目	いちご、メロン

推進体制



輸出額の目標（百万円）

品目	令和3年度	令和6年度
いちご	33	44
メロン	34	45

取組内容

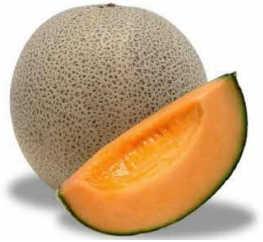
大ロット輸出に向けた生産方法の転換

- いちご：県育成品種「ゆうべに」「ひのしずく」をはじめ、「恋みのり」等の良食味品種について、台湾、タイ、米国等規制が厳しい国・地域への輸出拡大に向け、農薬散布暦等の現状把握、違反となりうる農薬の抽出、代替農薬の検討、台湾仕様農薬暦の策定等を実施
- メロン：赤肉メロンへの海外ニーズの高まりを受け、青肉メロンや既存赤肉メロンから、輸出に適した赤肉系新品種「レノンメロン」の導入を促進するため、生産者への情報提供やモデル園での栽培実証を実施
- 輸出への意識醸成を図るため、生産部会のリーダーや若手生産者等が海外渡航し、現地ニーズ把握やバイヤーとの意見交換等を行うとともに、海外バイヤーを招聘し、生産状況等の視察や生産者との意見交換を実施

ゆうべに

集荷から船積みまでの方法の転換

- JA担当職員による選果場巡回による集荷体制から、運送業者等と連携した集荷コースの最適化や集荷計画の策定等の効率的な国内輸送体制への転換に向けた実証
- 博多港から香港・マレーシア等に向け、スーパークーリングシステム等鮮度保持技術を活用したメロン等の輸送実証



レノンメロン

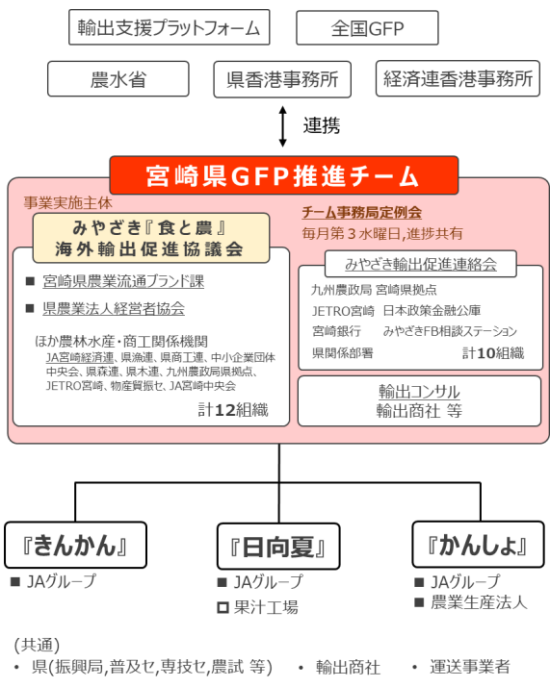
販路拡大・認知度向上等

- 香港、シンガポール、マレーシア、米国等の小売店での販促プロモーションを実施

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト採択地区の概要（宮崎県）

事業実施主体	みやざき『食と農』海外輸出促進協議会
実施対象品目	きんかん、日向夏、かんしょ

推進体制



輸出額の目標（百万円）

品目	令和3年度	令和6年度
きんかん	49	65
日向夏	1	27
かんしょ	270	316

取組内容

大ロット輸出に向けた生産方法の転換

<きんかん>
- 残留農薬基準が厳しい台湾向け防除に取り組む園地の拡大、及び春節ニーズに対応した新たな作型を体系化するための現地実証を実施。

<日向夏>
- ＥＵへの果汁の輸出に向け、ＥＵの残留農薬基準をクリアするための防除暦の作成と現地実証を実施。

<かんしょ>
- 基腐病等の面的な病害虫対策の実施、及び輸出専用ほ場団地を設置。

きんかん

集荷から船積みまでの方法の転換

<きんかん>
- 近隣県の地方港からのコンテナを活用した小口混載や、船便での長期間の輸送に耐えられる包材の検討等の各種実証を実施。

日向夏

<日向夏>
- ＥＵへの果汁輸出に向けては、新たに物流を構築する必要があることから、船便での冷凍輸送等、新たな輸送ルートを構築。また、EUの規制に対応した容器包装を検証。

<かんしょ>
- 農業法人とＪＡとが連携してキュアリングを実施。また、時期により、近隣県地方港からのドライコンテナによる輸送を検討。

サツマイモ基腐病

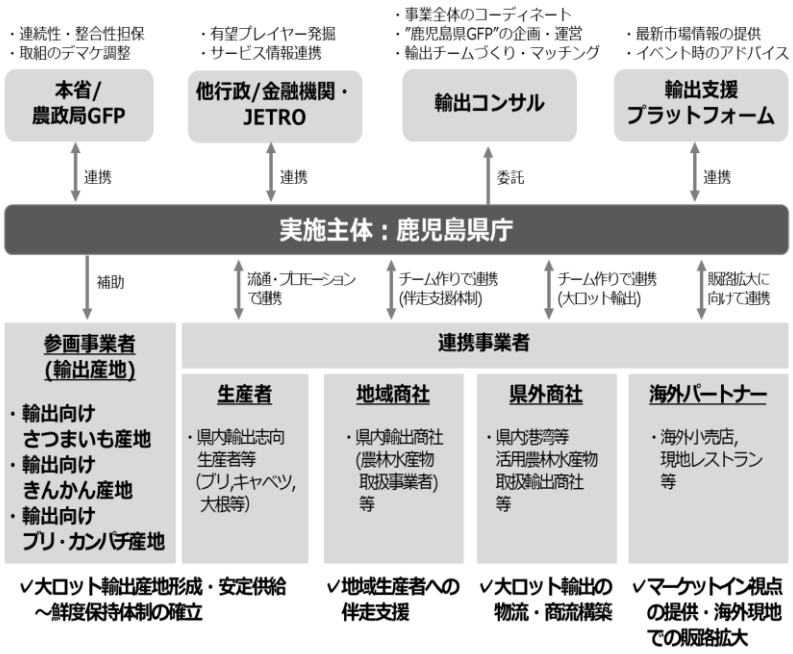
販路拡大・認知度向上等

- 輸出商社や現地パートナー等と連携した、情報収集や販促活動を実施。
- 新たな輸出先国おいても、ストーリーや食べ方の提案、商品の説明による認知度向上を図るための現地プロモーションを実施。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト採択地区の概要（鹿児島県）

事業実施主体	鹿児島県
実施対象品目	かんしょ、きんかん、ぶり・かんぱち

推進体制



輸出額の目標（百万円）

品目	令和3年度	令和6年度
かんしょ	645	994
きんかん	20	26
ぶり	10,593	15,350
かんぱち	285	365

取組内容

大ロット輸出に向けた生産方法の転換

<かんしょ>

- 輸出向けさつまいもの有機栽培への転換
  有機栽培に向けた栽培・技術指導、資材導入支援及び鮮度保持技術等を検証。

かんしょ

<きんかん>

- 輸出向けきんかんの防除体系の見直し
  海外中華圏を中心に縁起がよい果物として需要が高い一方、残留農薬基準が厳しい。台湾等の現地高級スーパーからの大ロットでの引き合いに応えられるよう栽培・技術指導を行った上で、残留農薬検査や台湾向け残留農薬基準対応の防除暦のアップデートを行い、作成した防除暦に関しては、他産地への横展開を実施。

きんかん

<ぶり・かんぱち>

- 種苗は、中国からの輸入割合が高く、輸入～導入～育成に係るコストが課題。人工種苗の安定供給体制を構築し、SDGsの観点から他国産種苗に頼らない種苗生産・トレーサビリティを担保。
- 養殖漁場の効率的な運用のため，漁場の利用状況を調査し、効率的な漁場（生け簀）運用を図る。

ぶり

集荷から船積みまでの方法の転換

産地近郊の港湾を活用した品目横断のコンテナ輸出体制の構築

- きんかんと混載可能な青果物（主に野菜）の拡大・混載輸出スキームの確立。
- 主に神戸港・京浜港から大ロットで輸出されているぶり・かんぱちについて、志布志港を活用した冷凍加工品との混載可能性を検証。

かんぱち

販路拡大・認知度向上等

- プロモーション対象店舗のバイヤー・イベントに参加したキーバイヤーに関しては、フォローアップを兼ねて鹿児島への招へいを実施する。
- 産地の魅力・産地での食べ方の提案を理解頂くことで、鹿児島県産品の"ファン化"を促し、鹿児島県産品の取り扱いに繋げる。